

平成31年第1回双葉町議会定例会を招集いたしましたところ、議員各位におかれましては、大変お忙しい中、ご出席を賜りまことにありがとうございます。

12月定例会以降の行政経過についてご報告いたします。

現在、双葉町立ふたば幼稚園、南北小学校、双葉中学校に在籍する園児・児童生徒の数は53名となりました。ICT教育などの教育環境を整え、外国語指導助手を活用した英語教育の充実や双葉町の歴史・文化・伝統等の継承への取り組みなど、少人数を活かした特色ある学校づくりを実践しております。

1月3日、いわき市において、「平成31年双葉町成人式」を挙行いたしました。震災当時小学校6年生だった新成人の皆さん70名のうち38名が出席されました。代表者による「誓いの言葉」、「はたちの夢・希望」の発表が行われ、成人者としての決意やふるさと双葉町の復興に向けた想いが述べられ、心を打たれました。また、成人式終了後、賀詞交換会を開催し、多くのご来賓の方々に出席いただき、町の復興についてのご意見をいただきました。

1月12日、13日の両日、夢ふたば人の主催による「双葉町ダルマ市」が、今回初めて復興公営住宅勿来酒井団地イベント広場で開催されました。三字芸能保存会による「奉納神楽」や「ダルマみこし」「巨大ダルマ引き」のほか、「双葉町民俗芸能発表会」や双葉町芸術文化団体連絡協議会主催による「第29回双葉町芸能発表会」が行われました。民俗芸能発表会では渋川芸能保存会による「神楽」、前沢女宝財踊り保存会による「前沢女宝財踊り」、双葉町相馬流れ山踊り保存会による「相馬流れ山踊り」が披露されました。また、芸能発表会には5団体が出演し、日ごろの活動の成果を発表し、来場者から多くの拍手が送られていました。

両日ともに好天に恵まれ、会場には、県内外の避難先から訪れた町民や地域の方々が縁起物のダルマを買い求めるなど、大勢の来場者でにぎわいを見せていました。

2月9日、福島県が双葉町中野地区に整備するアーカイブ拠点施設整備工事の起工式が現地で行われました。原子力災害と復興の記録や教訓の未来への継承、防災と減災、復興の加速化への寄与などを基本理念とするこの施設が、隣接する復興祈念公園と合わせ、福島における復興の象徴的な存在となり、多くの方々が行き交う場となるよう期待しております。

昨日、中野地区復興産業拠点への立地協定をアイワビルド株式会社と締結しました。これに先立ち、双葉町中野地区への企業立地説明会を2月15日に役場いわき事務所で、2月21日に東京都内で開催しました。東京での説明会には内閣府原子力災害現地対策本部長の磯崎経済産業副大臣にご臨席をいただき、町の復興に向けた取り組み、中野地区復興産業拠点と産業交流センター内の貸事務所の募集手続きについて町から説明し、また、経済産業省と福島県からは、企業立地に向けた取り組みや企業立地支援制度などについて説明していただきました。今回の説明会を受け、町内事業者を始めとする企業の中野地区への立地決定に向け取り組んでまいります。

これまで準備を進めてまいりました、まちづくり会社につきましては、2月13日に開催した設立準備会において、法人の名称、事業内容、組織などを定めた定款と社員・理事・監事が決定されたことを受け、3月5日法人設立登記申請を行い、同日第1回理事会が開催されました。まちづくり会社の名称は、「一般社団法人ふたばプロジェクト」で、町商工会を始めとする町内の各種団体などの代表者で構成されており、今後は設立総会を3月下旬に開催する予定としております。引き続き4月からの業務開始に向け取り組んでまいります。

最後に本定例会に提案いたしました、案件について申し上げます。

条例の制定が2件、条例の廃止が1件、条例の一部改正が7件、契約の締結が1件、平成30年度一般会計・特別会計補正予算(案)が6件、平成31年度一般会計・特別会計当初予算(案)が6件、人事(案)が1件、諮問が1件、合わせて25件となりますので、慎重なるご審議をいただき、議決賜りますようお願い申し上げます。